

万博・カジノの財政圧迫

大阪市議会
決算本会議

井上議員、中止求める

大阪市議会本会議が29日開かれ、日本共産党の井上浩議員は2023年度一般会計等決算と公営・準公営企業会計の決算の認定に反

対する討論をしました。各決算は共産党以外の賛成多数で認定されました。

「到底容認できない」と批判しました。

万博の建設費・運営費が増加の一途をたどり、カジノのための巨額



反対討論する井上議員
11月29日、大阪市議会

井上議員は、物価が上がり続けているのに収入は増えず年金も上がらない中、公共の役割と暮らしの応援を後景に追いやり、万博開催とカジノ誘致のための大型開発を前のめりで推し進める決算は

「まさに市民生活と財政を圧迫している」と指摘。「無謀で危険な万博・カジノはキツパリ中止すべきだ」と強く求めました。

府内統一化され11・4%値上げの国民健康保険料と全国一高額介護保険料について、独自の軽減策に否定的な市の姿勢を批判し、「あらゆる知恵と力を出して市民負担の軽減に努めるべきだ」と強調。また、大阪市の生活保護行政と教育行政の異様な現状を告発し、改善を求めました。